

全米にネットワークが広がる ビジネス拠点

オフタイムも魅力的な 国際都市、シカゴ

アメリカ合衆国の中西部に位置し、街の北東部にミシガン湖が広がるイリノイ州最大の都市、シカゴ。

国内第3位となる約270万人の人口を擁し、摩天楼がそびえ立つ。

世界有数のビジネスの街であり、同時に一流の芸術、文化、音楽、グルメ、建築が堪能できる魅力的な街だ。

全米一高いウイリスタワーをはじめ、摩天楼がそびえ立つシカゴ

©Choose Chicago

ビジネスから エンターテインメントまで全米屈指

シカゴは、街のほとんどを焼

き尽くした1871年の大火から、不死鳥のようによみがえった都市として知られる。摩天楼が立ち並ぶダウンタウン

の間に、ミシガン湖のビーチが24^キも続くなど、ビジネス拠点、アカデミック、アウトドアリ

ゾートなど、さまざまな街の顔が共存している。

成田からシカゴへは直行便で約11時間30分。さらにここから、全米の主要都市はもろろん、

世界へとネットワークが広がり、あらゆる業種のビジネスに理想的な都市となっている。シカゴ自体も、家電、機械工業、通信販売、冷凍食品などの分野が発展し、金融、鉄道、航空の拠点としても重要な位置を占め

ている。

観光スポットも多く、電車やバスなどで快適に市内巡りすることができる。ミレニアムパークやグラントパークでは音楽系のフェスタやコンサートなど多彩なイベント

が開催され、印象派の作品を数多く所蔵するシカゴ美術館をはじめ、ミュージアムは40カ所を超える。

スポーツ観戦では、大リーグのシカゴ・カブス、ホワイトソックスやバスケットボールのシカゴ・ブルズ、さらにアメリカンフットボールのシカゴ・ベアーズも人気だ。音楽ではシカゴならではのブルースやジャズが楽しめる、一方では世界的オーケストラのシカゴ交響楽団があり、まさに、ビジネスからエンターテインメントまで全米屈指の都市となっている。



©City of Chicago



©City of Chicago

街が音楽に酔う、シカゴ・ブルース・フェスティバル(6月)(右)
ワールドシリーズ優勝3回、リーグ優勝6回を誇る、シカゴ・ホワイトソックス(左)

スポーツ観戦では、大リーグのシカゴ・カブス、ホワイトソックスやバスケットボールのシカゴ・ブルズ、さらにアメリカンフットボールのシカゴ・ベアーズも人

最もアメリカらしいアメリカ

尽きない魅力 WINDY CITY

シカゴ

日系企業が多い
イリノイ州の中心地

在シカゴ日本国総領事館の調査では、シカゴのあるイリノイ州を含め、アメリカ中西部10州には1137の日系事業所が所在している(2012年)。州別で最も多いのがイリノイ州の590事業所で52%を占め、そのうちシカゴ市内に所在するのは43事業所。アメリカ中西部の日系企業の特徴は製造業が中心で、特に自動車と自動

シカゴの大火で唯一残ったノース・ミシガン・アベニューの水道塔(給水塔)(上)フィールド自然史博物館のティラノサウルスの骨格(右下)グラントパークのバッキンガム噴水(左下)



©Choose Chicago



© Cesar Russ



©Choose Chicago

車部品が多く、地域の雇用創出や経済発展に寄与している。

こうした背景もあり、シカゴへの日本人の訪問目的はビジネスが過半数を占め、さらにシカゴを経由して他の主要都市に向かう利用客も多い。

一方、観光面でも多様な魅力を持つことから、シカゴは「最もアメリカらしいアメリカ」を掲げアピールしている。その一つが摩天楼発祥の地であるシカゴの建築で、全米一高いウイリスタワー(433層)のほか、大火後の復興に活躍したシカゴ派の建築や、フランク・ロイド・ライトらのプレーリー派の建築、さらにポスト・モダン派の建築など街の散策の楽しみとなっている。

知るほどに
奥が深い都市、シカゴ

ミュージアムも多く、なかでもシカゴ美術館はパリのルーブル美術館を除くと、印象派、後期印象派の作品を最も多く所蔵している。スーラの「ダランド・ジャット島の日曜日(午後)」は門外不出なので必見といえるだろう。また、フィールド自然史博物館には世界最大のティラノサウルスの骨格が展示され、こちらも見逃せない。

シカゴには、ミシシガンガイドの屋付きレストランが21店舗(2012年版)



©Adam Alexander



©Choose Chicago

大人気のディーブ・ディッシュ・ピザ(上)
骨付きボリューム満点の「トマホーク」(下)

INFORMATION

シカゴ観光局では、観光スポットやアート、グルメ、ショッピング、スポーツ、音楽&エンターテインメント、イベント、モデルプランなど、シカゴの楽しみ方を紹介している

●シカゴ観光局「ぶらッとシカゴ」
<http://www.choosechicago.jp/>

日本では意外なほどその魅力が知られていないシカゴ。「Windy City(風の街)」の愛称で呼ばれる都市の「最もアメリカらしいアメリカ」を、一度体感してみたいかがだろうか。

あり、グルメの街でもある。庶民的なディーブ・ディッシュ・ピザやホットドックなどから、有名なシカゴ・ステーキまで多彩に楽しめ、特にブランチのレストランが豊富なことも知られる。これからの季節だと、秋から冬に向け、アメリカのクリスマスホリデーはシカゴから始まると言えるほどイベントが続く。11月の下旬には感謝祭よりも早く、「マグニフィセント・マイル・ライツ・フェスティバル」というクリスマスを祝うイベント、コンサート、パレードからなるイベントが開催される。